

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

インフルエンザの予防接種を受けましょう



インフルエンザは基本的に自然に治りますが、気管支炎・肺炎、クループ症候群、熱性けいれん、心筋炎などの合併症、特に幼児ではインフルエンザ脳症という重症な合併症があり注意が必要です。治療法としては抗ウイルス剤のタミフルやリレンザなどを使用します。

予防にはワクチンを接種することが有効で、合併症や重症化を防ぐことができます。小児（0～12歳まで）は抗体がつきにくいので2回接種が必要です。1回目から4週間程度あけて2回目を接種したらよいでしょう。予防接種の効果が出るまでには2週間程度かかりますので、流行期になる前に早めに接種しましょう。

なぜインフルエンザは毎年予防接種を受けなければならないのか？

毎年流行する型が違うので予防接種の内容もその年の流行に合わせたものになります。そのため毎年流行する前に予防接種が必要になります。

中野こども病院のインフルエンザ予防接種開始日は10月16日（月）です

毎週 月、火、水、金曜日 時間 13:30～15:00

※水曜日の同時接種は受け付けていません

インフルエンザのみの予防接種受付になります

費用1回：3000円



※予約制ですので電話もしくは受付で御相談下さい。

電話予約 06-6952-4771

月曜日～金曜日の9:00～10:30もしくは15:30～17:00の時間帯にお電話下さい。



ノロウイルス流行の可能性があります！！

○嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

○下痢がひどいとき

おしりふきでしっかり拭くよりも、シャワーで洗い流せばおしりは荒れにくくなります。

○水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるからといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使いましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をとんでも消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！

当院の流行状況

RSウイルスが依然として多数検出されています。まだまだ流行は続きそうです。引き続き乳幼児のお子様がいらっしゃるご家庭は注意しましょう。

ノロウイルスが検出されています。報告数はまだ少ないですがこれから流行する可能性があります。注意が必要です。





10月31日に病棟行事“ハロウィンパーティー”を行います。
保育士からのお話と製作はハロウィンバックを作ります。



プレイルーム内に飾り付けした写真撮影スポットを
用意してお待ちしています！！



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願いします。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。
- 駐輪場側の入り口横に売店が出来ました。是非ご利用下さい。